静岡県教育委員会
教育広報紙

Eジャーナルしずおか

平成24年（2012年）5月8日 火曜日 92 第92号

発行・編集 教育政策課　〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号　TEL 054-221-3168　FAX 054-221-3561　E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

華麗なる変「新」通学合宿、再出発!!

家庭から離れ、小学生たちが共同生活しながら、学校に通う「通学合宿」。昨年度は県内155か所で実施されました。

末広がりの8年目、さらなる飛躍を目指して、通学合宿が変わります。

左から通学合宿実施の手引き、安全管理マニュアル、実践事例集

三種の神器、現る

「通学合宿って、どんなことをしたらよいの？」などの疑問にお答えするため、次の3つの資料を用意しました。

①実施手順をまとめた「通学合宿実施の手引き」
②安全管理をまとめた「安全管理マニュアル」
③具体的な活動内容をまとめた「実践事例集」

まずは、どんなことができるのかは「実践事例集」を。「うちでもできるかも」という事例がきっと見つかるはずです。実施する団体には、県の担当者が説明に伺いますので、お気軽にお問い合わせください。

補助金額が変わります

皆さんの活動を応援しようと、県では合宿経費の一部を補助しています。その金額と対象経費が変わります。補助金額は少し減りましたが、対象となる経費を拡大し、より利用しやすくなりました。

地域に根ざした「我が町の合宿」となるよう、これを機会に活動内容等を再点検してみませんか。

生の声を生かして

「他のところはどのようにしているの？」という声をよく聞きます。

前述の「実践事例集」を参考にしていただけますが、実施団体同士の情報交換の場ともなる「通学合宿推進研修会」を2会場で開催します。本年度は新たに事例発表を加え、意見交換の時間を拡大しました。もちろん、通学合宿未実施地域の方の参加も大歓迎。

経験の有無に関わらず、今後の合宿実施に有意義なものとなるでしょう。

24年度補助制度
※2泊以上に補助金を交付

補助金額
〈2～5泊〉　最大7万円
（新規実施は最大13万円）
〈6泊以上〉　最大 20万円
（新規実施は最大27万円）

補助対象経費
通学合宿に要する全ての経費
（合宿の趣旨にそぐわないものは除く）

実施団体大募集中！

県教育委員会では、190か所を目標に、実施団体を大募集しています。「通学合宿」の実施を、ぜひ御検討ください。

募集詳細はホームページで。

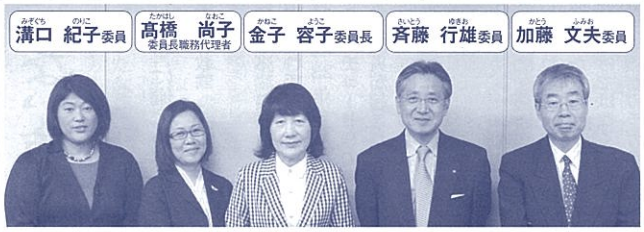
問 054(221)3123
【社会教育課】

通学合宿推進研修会

開催日時
中西部:7月21日（土）　東部:7月28日（土）
午後1時から4時まで

会　場
中西部:県総合教育センター（掛川市）
東　部:コミュニティながいずみ（長泉町）

主な内容
○事例発表会（20分×2団体）
○グループに分かれての意見交換会



平成24年度教育行政の基本方針等連絡会議を行いました。

4月4日、県庁にて教育委員会事務局職員が出席して開催しました。その会議では、金子教育委員長をはじめ、教育委員の皆さんからの話がありました。ここでは、その要旨を紹介します。

金子容子委員長　「子どもと教職員の内発的な力を引き出す仕組みづくり」

東日本大震災の数か月後、被災地で、とるものも取りあえず学校を再開してきたが、結果は悪いだろうがここらでテストをしなければと実施したところ、なんと驚くべきことに平均点が10点も上がり、また、それまで不登校だった数人の生徒が、全員自らの意志で登校するようになったという報告がありました。これらは、子ども自身の「なんとかしなければ」という内発的な力に起因し、非常に多くのことを考えさせられる実話です。教育行政においても、行政側から決めて伝達することも多くそれも大切な一つの軸ですが、子どもと教職員の内発的な力を最大限に引き出す仕組みづくりも、一方で教育行政の欠かせない軸として、今年度やっていきたいと考えています。

髙橋尚子委員長職務代理者　「徳は積み重ねていくもの」

徳は育てるものではなく、積んでいくものだと思います。学校教育においては、自己肯定感、自己有用感を持った人に育てていくことが重要です。また、安全・安心な教育の推進に当たっては、環境づくりも含め子どもや保護者の視点を考慮するなど、何のために、誰のために進めていくべきか、教育行政に携わる各々が考える必要があります。千の花に千の花が咲く。子ども一人一人がそれぞれの花を咲かせられるように教育環境を整えていってください。

加藤文夫委員　「基礎学力を身に付けさせる」

国力とは、今では経済力です。経済力を生む源は、国民の教育水準であり、その教育において留意すべきは、最高の知性を伸ばすことと、学力の最低ラインを上げることです。

16～65歳の労働世代で、実際に働いている人の割合が減っています。働かない人が増えるということは、国を支える人が減ることであり、これでは国力も上がりません。

先日、意見交換を行った就労支援をしているNPOの方から、「教育において大切なのは『よみ、かき、そろばん』をきっちりと教えること」という話を伺いました。「アルバイトの高校生や大学生は、とにかく学力がない。これだと正社員としての雇用は厳しい」とも別の会社経営者から聞いたこともあります。

社会人として最低限身に付けるべき学習能力、知性を、学校においてきちんと教え、生きていく必要最低限の学力を身に付けさせてほしいと思います。

溝口紀子委員　「ピンチの時こそ、怖がらない」

南アフリカの潜水士から聞いた話です。「サメは、優れた嗅覚で人の血液や臭いに反応する。優れた聴覚も持っており、人の心臓の鼓動に最も反応する。人喰いサメと会ったら、怖がらず寄り添うことが重要だ」。この話から学んだことは、「ピンチの時に、怖がらない」ということです。これは、不祥事をはじめ様々な課題を抱える教育行政への対応にも同じことが言えると思います。目まぐるしく変化する時代や様々な課題に、「寄り添う」姿勢を大切にしながら、柔道で言う防御の姿勢である「自護体」でなく、攻撃にも防御にも対応できる「自然体」で、怖がらずに対応していきましょう。

斉藤行雄委員　「教育はじっくりと時間をかけること、そして反復連打を」

ある新聞記事に「教育はすぐに成果がでない。教育にはゆとりがない。このところ、日本人はせっかちで、5年先のことは考えても、50年先のことまでは考えない」と書かれていました。子育てには時間が必要であり、教育においては、流行を追うことも大事だが、不易を大切にすべきでもあります。

不祥事の根絶には、反復連打が必要です。ある社長は社員に社風を身に付けさせるため、1万回以上繰り返し朝礼で言い続けるそうです。あのエジソンも1万回の失敗の後に成功を収めたからだといいます。教職員の不祥事根絶に向けて、使命感や倫理観、教育に携わる喜びについて、所属長が教職員に語り続けていく以外に方法はないのです。子どもの教育と同様に、繰り返し、繰り返し時間を掛けて話してほしいと思います。

県立中央図書館企画展「来てみて！新東名」

新東名ってどんな道？

4月14日に開通した新東名高速道路。この新たな交通の大動脈の開通は、静岡県内の車や人の流れ、物の流れなどに様々な変化をもたらします。

最新の土木技術を駆使して作られたこの道路。どのような点がこれまでの高速道路と違うのか、皆さんは想像できますか？

図書館と高速道路？

県立中央図書館では、4月28日（土）から5月30日（水）まで企画展「来てみて！新東名」を開催します。

図書館と高速道路…。一体何の関係があるのか？

中央図書館では、様々な方に利用していただくためのきっかけや、利用者の皆様が新たな分野へ興味関心を持つきっかけ作りに少しでも役立つよう、今年度も色々な企画を実施します。

県内の交通の流れをガラッと変える!?新東名の開通。それを特集しない手はない！そう思い生まれた企画がコレです。

構想から完成までの20余年の流れや防災上期待される役割、そして、新東名開通で県内の道路網がどのように変わったのか、計画中の一般道路整備予定路線図も併せて紹介します。

新東名の橋やトンネルなどの新技術、新工法、埋蔵文化財センターの協力による発掘物の展示なども行います。特色ある各サービスエリアの情報も、ど～んと紹介します。

さらに、子どもも大人も楽しめる企画満載。

5月12日（土）・13日（日）にはシートベルト衝突体験（協力　JAF）を開催。

また、「飛び出せ新東名！」コーナーもあります。ここでは3Dメガネを使い、複雑な構造のジャンクションやインターチェンジ、新技術を惜しみなく投入した大型の橋などを、紹介します。新東名を立体的に体感できます。

内陸部の魅力再発見～図書館がお手伝い～

新東名沿線を見まわすと、興国寺城跡（沼津市）や前方後円墳の三池平古墳（静岡市清水区）など、歴史上の史跡も点在しています。

静岡県の内陸部について、この機会に見つめ直してみませんか？

県立図書館の「地域資料」コーナーには静岡県関連の資料が多数あります。

静岡県の歴史や地理、産業に関する本、さらには県人作家の著書まで、幅広く所蔵しています。

静岡のことをさらに詳しく知りたくなったあなた、当館にいらっしゃればきっと御満足いただけるはずです。さらに、新東名開通によってアクセスがよくなった県内各地の観光パンフレットも取り揃えました。

静岡の各地の情報を収集して、静岡県の魅力を発見してみてはいかがでしょうか。

県立中央図書館でお待ちしています。

【県立中央図書館　企画振興課】

実践NOTE183

かけがえのない命を守るために

～防災対応を見直し、災害に備える取組～

静岡県立浜松特別支援学校　教諭　大箸 和代

避難場所の屋上を確認する（筆者右）

本校は、遠州灘の海岸線から約700m、西側にはすぐ馬込川が流れている場所に位置しています。この辺りは昔入り江だった所を埋め立てた地域で、海抜2m。そのため、大地震が起こった時は、液状化も予想されます。

ここに小学部から高等部までの児童・生徒288人、教職員138人、全体で426人の命が生活しています。

これまで海岸の防波堤は、5mの高さの津波に耐えられることになっていて、防風林もあることから「津波は大丈夫」とされ、津波避難地域には指定されていません。

平成23年3月11日、マグニチュード9の東日本大震災が起こりました。防災の専門家のお話によると、遠州灘と地形がよく似ている仙台平野では、海岸線から約2kmまでは、津波の力で多くの家が押し流されたそうです。津波は、ただ海水が押し寄せるだけではなく、まるで洗濯機がガラガラ回っているように、がれきや車などを巻き込んで襲ってくるのだと。東海地震の場合、地震が起きた5分後には、このような大津波がやってくる可能性が高いと聞きました。

学校のすぐ脇には馬込川

大津波が襲ってきたら、どこへ逃げればいいの？

3階建ての本校の周囲には高い建物がありません。地震発生から5分以内に避難するためには、現状では屋上への避難がより良いと考えています。本年度夏には、南北両校舎に屋上への非常階段及び転落防止用フェンスが設置される見込みです。

東日本大震災後、さらに次のような取組をして、職員間の共通理解を図ってきました。

ホワイトボードの活用

避難訓練の際、全校の避難状況が一目で分かるように集約し、誰が見ても理解でき、次の行動に移れるようにします。

防災対応の見直し

気象庁から「東海地震に関連する情報（臨時）」が出された場合、一般の人たちより一足早く避難します。もし、時間に余裕があれば、津波の危険が少ない、北にある福祉避難所へ避難することとします。保護者には、学校ではなく、安全な福祉避難所に迎えに来てもらうように共通の認識をもっています。

防災対応シナリオの作成

前出の防災対応を基本に

○発災・登下校中
○発災・勤務時間外
○発災前・勤務時間内
○発災・勤務時間内

の4パターンで、時間経過と各係の活動内容をまとめ、全体計画と、どのタイミングで何をするかが一目で分かるようにしました。

【避難生活に備える】非常食体験　寝袋体験

地域と共に

本校は県立学校ですが、子どもたちは浜松市民なので、市とのつながりを持って安全を確保していくことが大切です。そこで、浜松市の小中学校や地域を対象とする防災研修会に参加させていただき、市の対応についても理解を図るようにしています。

そのほか、生徒が利用している路線バスの営業所や、スクールバス契約会社に、バス運行中に発災した場合の本校児童生徒の安全確保をお願いしました。併せて、近隣の福祉施設と協力して、「災害時のお願いカード」を作成しました。

今後も、家庭、学校、地域、行政がつながって、障害のある子どもたちや職員、みんなの命を守るためにどうしたらよいのか、考え行動していくことが求められています。

実践NOTE184

ぼくたち・私たちに今できること

～命を見つめる子どもたち～

静岡市立長田東小学校　教頭　櫻井 守

東日本大震災に学ぶ

本校では、これまで「キャリア教育」に関わる特色ある教育活動を行ってきました。

活動を進める中で、児童に「将来の自分」を思い描かせるためには、「今の自分」を見つめ直すことが必要であることが分かってきました。

そこで、昨年度は本校の教育方針の柱である「生き方教育」の視点から、活動を再編成することとしました。また、取組が単発のイベントで終わることのないよう「生き方教育年間計画」を作成し、一年を通して様々な活動が計画的に実施できるよう配慮しました。

折しも、昨年3月に起こった東日本大震災は、子どもたちに「命の大切さ」「これからの生き方」について考えさせる機会を与えてくれました。こうして「命を見つめる日」を、昨年11月12日（土）に実施したのです。

「命を見つめる日」全体テーマ
ぼくたち・私たちに今できること
講演「いのちについて」
大槌保育園　八木澤弓美子園長

学年	学年別設定テーマ・主な活動
1年	消防署の協力による起震車体験、保護者による「命」に関連した絵本の読み聞かせ
2年	地域のお年寄りとの交流（遊びや音楽の発表等）
3年	動物とふれあう体験活動、お茶や音楽を楽しむ体験活動
4年	障害のある方々との交流
5年	環境やエコに関わる体験活動
6年	防災やボランティア活動に関わる体験学習や発表

発達段階に応じた活動の精選

「命を見つめる日」の全体テーマは、「ぼくたち・私たちに今できること」です。活動を通して、「命の大切さ」に気付かせ、「今をどう生きるか」を児童に考えさせることをねらいとしました。そのために、どのような活動や学習の場が必要かを各学年で検討しました。

当然、全ての学年で同じような活動を設定することは不可能です。そこで、学年児童の発達段階を考慮した上で、当日の活動を精選していきました。

被災地の園長先生のお話に共感

岩手県大槌（おおつち）町大槌保育園の八木澤園長先生をお迎えし、全校で震災当日の状況についてお話を聞きました。

生々しい被災地の写真をもとに当時の様子を語られる先生の話からは、メディアで報道されている以上の緊迫感や悲壮感が伝わってきました。子どもたちは、「生きててよかったね」という先生の言葉に、改めて震災の恐ろしさと共に命の大切さを感じることができました。

多くの方々に支えられながらの体験活動

各学年に分かれての体験活動では、ボランティアとPTAの皆様を合わせて約100人もの御協力をいただきました。

2年生は、学級ごと地域の公民館に出掛け「お年寄りとの交流」を図り、優しく接することや自分から相手に進んで関わることの大切さに気付きました。

また、6年生は、防災について事前学習したことを発表したり、避難生活やボランティア活動について講師の方に質問したりする活動を通して、震災時に何が必要かを知ることができました。

「命を見つめる日」はじめの式

私たちにできることは何だろう…

児童は、「命を見つめる日」を通して、今、そして将来を生きていく上で大切なことに気付くことができました。「ぼくは、多くの人に支えられている。だから、もっと周りの人に優しくしたい」「命って大切だな。命が輝くよう精一杯生きなきゃと思う」「親に頼らないで自分の力でやれることを増やしていきたい」等の感想を多くの児童が持つことができました。

「命を見つめる日」が終わり、6年生は卒業まで自主的な朝の挨拶運動を始めました。4年生は、1月に学年で実施した「二分の一成人式」で、自分の夢やこれからの生き方について発表することができました。子どもたちの心の中に、「今の自分」を見つめ直し、より良い生活を送ろうとする気持ちが芽生えているように思います。

命の大切さに関わる本の読み聞かせ

さらに自分と向き合う場を

本年度は、「生き方教育」を基盤とした新たな取組として、11月に「東っ子ドリームウィーク」を開催する予定です。

この学習では、児童が将来目指す職業や生き方を思い描く中で、職業に情熱を傾ける方や福祉に携わる方々などとふれあい、「今の自分」に必要なことや日々の生活をどう生きていくか等について、正面から向き合えるようにしたいと思います。

そのために、昨年度作成した「生き方教育年間計画」を見直し、より児童の実態や思いに寄り添った形で適切な学習の場や活動を設定していこうと考えています。

対人関係の苦手意識を改善しよう！
コミュニケーションスキル講座・教育相談

県教育委員会では、高校における発達障害等のある生徒支援の一環として、対人関係を築くことに苦手意識を持っている高校生を対象に、昨年度「コミュニケーションスキル講座」を実施しました。

県内の公立高校から18人の応募があり、受講生徒は9人ずつの2組に分かれ、隔週土曜日に9回の講座に参加しました。

コミュニケーションスキル講座の活動内容

高い専門性を持ったジョブコーチや地元農家の方を講師に、次のような活動に取り組みました。

①ソーシャルスキルトレーニング等の視点を取り入れ、自分の長所や短所を見直したり、接客ロールプレイや目隠し体験などに取り組んだりして、自己理解を深めるとともにコミュニケーションの基礎を学びました。

②ビニールハウスでの野菜栽培や収穫した野菜を使った調理実習、森町の「体験の里アクティ森」での紙すきや陶芸体験などで、達成感を味わうことや協働作業を通した仲間づくりを行いました。

講座の成果

受講生徒からは、「今後の生活で役立ちそう」「育てた野菜を家族が喜んで食べてくれた」「他校の生徒と知り合いになることができた」など肯定的な感想が多くありました。

講座期間中には臨床心理士を囲んで保護者懇談会を2回行い、講座の参観や意見交換により、貴重な交流の場となりました。保護者からは「子どもにとって安心して過ごせる居場所となり、毎回講座を楽しみにしていた」「一人で電車を乗り継ぎ通いとおした経験は、本人にとって大きな自信となった」などの感想も寄せられました。さらに、事後アンケートでは、学校生活で少し変化が見られたと報告してくださった先生方もいました。

ソーシャルスキルトレーニングの講義

◇24年度受講生徒募集中

本年度もこの講座を開催します。

募集期間　～5／10（木）
開 講 日　5／26～10／6の隔週土曜日（全10回）
場　　所　旧県立周智高校（森町森92-1）
受 講 料　無料。ただし材料費等実費負担あり。

教育相談も実施

講座開講日には中高生とその保護者を対象とした医師又は臨床心理士による教育相談も実施し、期間中23件の利用がありました。

◇24年度教育相談

対人関係がうまく作れない、集団行動をとりにくい、特定のものへの強いこだわりなどにより、学校生活、日常生活、卒業後の進路選択等に不安がある生徒・保護者の方、御相談ください。

日程　5／26～10／6の毎週土曜日（要予約）
場所　旧県立周智高校

申 問　県教育委員会学校教育課再編整備室　TEL054-221-3113

次回から2回連続で、発達障害等のある高校生を対象とした「就労支援」「学校生活における支援のヒント」を特集します。　【学校教育課高校再編整備室】

コラム

「見られていること」

財務課長　原田 揚一

コミュニケーション

コミュニケーションと聞くと、「会話すること」を想像しますが、「見ること」「見られること」も、コミュニケーションの入り口として、また、人との関係の中で、自分を意識する根幹の一つとして、大切な働きをします。『芸能界の水』の中で女優さんがアカ抜けてゆく」ことも、「逆境にあっても凛(りん)とした女性」や「素敵な中年男性」でいることも、「子どもが大人になって『暖かい目で見守ってくれていたんだ…』と、親の愛を肌で感じる」ことも、「目と目で通じ合う」ことも…、すべて「見る」「見られる」意識と感覚が作用するものなのでしょう。私たちも、常にこの意識を持ち、たとえ小遣いが痩せ細っていく中にあっても、ある程度の気遣いをもって身なりを整えなければならないと思いますし、このことが適度な緊張感を保ち、身を律することにつながるのではないでしょうか。

見られています…

昨今、教職員による不祥事が続発しています。この3月に公表されたデータでは、過去10年間に133人が懲戒処分を受けており、これは、10年間で見れば、ほとんどの所属で1件の処分事案が発生した計算になります。

私は、この背景には「見られている意識の欠如」があると思っています。「密室だから見つかりっこない」「ネット、携帯だから大丈夫」「相手が言うはずがない」などの誤った意識があるのではないでしょうか。ネット社会の秘匿性など司法の前では無いも等しく、街や道にはおびただしい数の監視カメラ、厳しさを増す企業防衛、被害・権利意識の高まりと通報や相談の制度…。そう、壁には耳、障子には目があり、人の口の前に戸は無く、そして…悪事は千里を走るのです。20分の1の確率と踏んでキセルをすれば、20回目には発覚するのです。発覚・露見すれば処分・公表が待っています。一時の快感や些細な経済的利得の代償として失うものの大きさ…。良く考えてみる必要がありますね。あなたは、「見られている」のですから…。

プロフェッショナル

我々は税金で生活の糧を頂いている公務員です。一円の無駄な支出も不効率な振る舞いもできない「公務のプロフェッショナル」なのです。それぞれの現場でも、多少のやりにくさは伴うとしても「見られている意識」を高める具体的な仕組みが必要であり、同時に、そうした意識を、社会の中で生きてゆく子どもたちに伝授する責務もあるのではないでしょうか。

静岡県・浙江省友好提携30周年記念事業
～30年の交流の歴史を若い力が引き継ぐ～
「日中青年代表交流」参加者募集

今年、県との友好提携30周年を迎える中国浙江省の青年との交流を通して、産業、教育や文化など各分野の交流の促進を担う若き人材の育成を目指して、青年交流事業を実施します。

中国の青年との出会いに加え、日頃交流の機会が少ない県内の異業種の人たちとの交流の機会は、皆さんの活躍の場を広げることとなるでしょう。

本交流に参加して、共に友好提携30周年を盛り上げませんか。

御応募お待ちしています。

（事前・事後セミナー（3回））
6月～12月の土曜日
交流に備えて、渡航ガイダンスや中国事情を学ぶ講座等を行います。

◇応募要件　各分野で活躍する20歳から概ね35歳の方で、原則ホームステイ（1泊2日）の受入れが可能な方

※本交流参加教員は、10年経験者研修の「社会体験研修」が免除されます。

◇定員　30人

◇費用　13万円

◇締切　6月1日（金）

詳細は、県教育委員会社会教育課ホームページで御覧いただけます。

問　社会教育課　TEL054(221)3312

◇内容

〈交流（2回）〉

○浙江省交流（中国浙江省、上海市）
8月10日～17日

○静岡県交流（県内各地）
10月（予定）

今回御応募いただいた皆さんと浙江省の青年が、浙江省と静岡県を相互に訪問し、ホームステイや青年意見交換会、企業・教育施設等への訪問を行います。

急速に経済発展を遂げている中国の勢いを肌で感じ、また日中の文化の違いに触れて国際感覚を養い、交流を深めます。

23年度「静岡県交流」の浙江青年友好代表団歓迎レセプションにて

静岡県・浙江省友好提携30周年記念行事について

両県省では、4月4日～8日の「浙江省代表団」の静岡県訪問を皮切りに、年間を通じて、様々な30周年記念行事が予定されています。

6月には浙江省の省都杭州市にて緑茶博覧会を開催、11月には、本県の友好交流代表団が浙江省を訪問します。

あすなろAngle

授業で「本当に必要な英語力」を育むために

本文をノートに書き写し、知らない単語の意味を辞書で調べる。日本語に訳した上で授業に臨み、先生の説明を聞いて疑問点を解決する。

この、高等学校における伝統的（？）な英語の授業には、大きな問題点が少なくとも2つあります。学習指導要領の趣旨に沿わないこと、そして本当に必要な英語力が身に付かないことです。

主役は生徒

「英語の授業は英語で実施する」という高等学校新学習指導要領の方針は、マスコミでも大大的に報じられてきました。

教員の英語使用ばかりが注目を集めていますが、本当に大切なのは、「生徒が主体的に英語を聞き、話し、読み、書く」ことです。冒頭の例には、そういった場面が決定的に欠けており、日本語で行っていた解説を英語に代える程度では、学習指導要領の趣旨に応じたことにはなりません。

埋めるべきギャップ

2つ目の問題点は、「急速に変容する社会を生き抜くための英語力」を育てることができていないことです。遅々とした改革しか進んでいないように見える大学入試への対応においてでさえも、後手に回っています。

確かに、辞書を片手に全訳させ、そこに丁寧な解説を加えれば、生徒は重要な文法事項や複雑な文構造をきちんと理解するでしょう。しかし、単語の意味を推測したり、理解できない部分を保留して先に進んだり、重要な部分だけを嗅ぎ分けたりする練習は行われていません。生徒にとって、より有用と思われる「力」が軽視されているのです。

「うちの生徒には無理だから…」という教員側の思い込みで、英語を用いる機会そのものが提供されないことになるのです。

求められる変化

これらの問題には単純な解決策が存在します。「万が付く授業」の実践です。

生徒を英語と格闘させましょう。適切な課題を与え、自力で解決させましょう。教師が一方的に教えるのではなく、「生徒が学ぶ」場面を作るのです。そうすることで、「自分の未来を自分で切り拓く力」を鍛えてあげればよいのです。英語を主体的に用いさせることで、「時代の要求する英語力」を育んでいけばよいのです。

授業で「本当に必要な英語力」を育むために、何ができるか。何をすべきか。我々教員に求められているのは、「生徒のために自分を変えること」なのです。

【授業づくり支援課　授業支援Ⅰ班】

駿河総合高校校章募集!!

県立静岡南高校と静岡市立商業高校を再編して平成25年4月に開校する県立駿河総合高校の校章を、募集します。

駿河湾のような大きさ、そして夢や希望を総合的に学習できる学び舎をイメージできる校章案をお待ちしています。

■応募方法

次の事項を明記し、はがき又は所定の応募用紙で。（静岡南高校及び静岡市立商業高校のホームページに掲載）

○校章案（応募用紙1枚に1案）

○校章の説明（理由やイメージなど）

○住所、氏名、電話番号

■募集締切

平成24年6月8日(金)（当日消印有効）

■審査・決定

開校準備委員会において審査・決定します。

■採用者・賞

採用の決定した校章案応募者に直接連絡します。また、採用者には記念品を贈呈します。

■問い合わせ・応募先

校章選定委員会（県立静岡南高校内）

住所　〒422-8017 静岡市駿河区大谷5762

TEL 054(237)5781

（静岡市立商業高校内）

住所　〒422-8032 静岡市駿河区有東3-4-17

TEL 054(285)2271

【学校教育課高校再編整備室】

学習情報の宝庫

～「マナビット21」へようこそ～

「マナビット21」は、皆さんの生涯学習を応援する学習情報を集めたポータルサイトです。

トップページにある「生涯学習情報検索」というメニューバーから次のような情報を検索することができます。

講座を探す
「学習機会の情報」から、県や市町、大学、民間教育事業者が提供している講座の情報を検索できます。

施設を探す
「施設の情報」から、図書館や博物館、スポーツのできる施設等を検索できます。

しずおか県民カレッジ
県や市町、NPO、大学、民間教育事業者などが実施する連携講座を紹介しています。

ふじのくにゆうゆうnet
子ども、学校向けのネットワークサイトです。国や県、市町、NPO、企業等が、学習情報や体験型イベント情報を紹介しています。

「いつでも」「どこでも」「だれでも」学ぶ楽しさを感じ、「マナビット21」を使って自分に合った学びができる場所を見付けましょう。

自分の可能性を再発見する場を、ぜひここから。

問　静岡県総合教育センター　総務企画課
生涯学習推進室　TEL0537-24-9715 FAX0537-24-9748
http://www.shizuoka-c.ed.jp/manabi/

ひきこもりで悩んだときは…「アンダンテ」に

青少年交流スペース「アンダンテ」は、15歳から30歳代のひきこもり傾向にある青少年の円滑な社会復帰及びその家族を支援するための交流の場です。無料で利用できます。

■ところ　県男女共同参画センター「あざれあ」5階（静岡市駿河区馬渕1丁目17-1）

個別面談及び電話相談
ひきこもり傾向にある青少年やその家族の相談に丁寧に対応します。面談希望の方は、事前の予約が必要です。電話又はファックスでお申し込みください。
■月～土曜日　10:00～16:00

フリースペース
ひきこもり傾向にある青少年が安心して自由に使える場です。
■月～土曜日　9:30～16:00

親（保護者）の会
ひきこもり傾向にある青少年を抱える家族の交流会です。
■毎月第3土曜日の午後

問 申 「アンダンテ」　TEL FAX054-255-0600
http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-080

【社会教育課】

高等学校卒業程度認定試験とは?

この試験（通称「高卒認定試験」）は、様々な理由で高校等を卒業していない人のために、「高校を卒業した人と同等以上の学力があるかどうか」を文部科学省が認定する試験です。進学や就職など自らの夢の実現や目標に向かうための第一歩として、「高卒認定試験」という選択肢があることを紹介します。

合格すると、

○大学・短大・専門学校の受験資格が得られます。

○就職や資格試験の受験にも活用できます。

○校長の判断で、高校の単位として認定することもできます。

その他、受験資格・試験科目・合格要件・「受験案内・願書」の入手方法などは、文部科学省のホームページで確認できます。

★高卒認定試験ホームページアドレス
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shiken/index.htm

平成24年度高卒認定試験スケジュール

〈第1回〉
・出願受付　5月16日(水)まで
・試験日　8月1日(水)・2日(木)
・結果通知　8月27日(月)発送予定

〈第2回〉
・願書配布開始　7月23日(月)
・出願受付　9月3日(月)から9月18日(火)まで
・試験日　11月10日(土)・11日(日)
・結果通知　12月7日(金)発送予定

【社会教育課】

EDITOR

青葉の季節、近づいてきた生活習慣病検診。メタボ検診で、おなか周りに当てられるメジャー。納得いかない数字にギョッ。

そこで、秘策考案。皆さんもぜひお試しください。周りの方もお誘い合わせの2人。みんなでやれば怖くない…？

まず、立って腰に手を当てます。そして、息を吐き切ります。次にできるだけ息を吸い込んで。その息は肩の方へ送るイメージを。今度は腰に当てた手を少し後ろにずらします。そう、肩甲骨を近づけるイメージで。そして先ほどの深呼吸をもう一度。どうですか、ウエスト辺りキュッとしてきませんか。これで、今年は大丈夫？残念ながら、メタボ検診の計測位置は、もうちょっと下でした。一朝一夕には無理ですね。

でも、ウエストのくびれの一時的復活と共に、顔が上がりませんか。そうしたら一緒にやった人と上げた顔を合わせてにっこりするもよし、ぐるっと周りを見るもよし。見える景色が変わってきます。（お）

広告

あんぜん・あんしん自転車
静岡県キャンペーン

実施中　平成24年5月31日(木)まで

組合加盟店では「あんぜん・あんしん自転車キャンペーン」による保険つき点検整備を行っています。
この看板のある自転車安全整備店に「TSマーク点検」とご依頼ください（有料）。

自転車を安全に安心して利用するために
自転車整備のチェックポイント

実施機関 **静岡県自転車軽自動車商業協同組合**
静岡市葵区常磐町1-4-11　TEL 054-252-7785　FAX054-252-9129

Eジャーナルしずおかは48,000部発行　市町教委等の御協力により、静岡県の全ての公立学校等教職員一人一人に配布されています。　図書館や公民館にも配架され、一般の方も御覧いただけます。